

石油暖房機器ブランド「ブルーヒーター」が 累計生産台数3,500万台を達成しました これからも全国にあたたかさをお届けしてまいります

ダイニチ工業株式会社(本社:新潟県新潟市、代表取締役社長:吉井久夫)の石油暖房機器ブランド「ブルーヒーター」は、1月19日(水)に累計生産台数 3,500 万台を達成しました*。

*2022年1月19日現在。1971年からの業務用石油ストーブ、家庭用石油ファンヒーターの生産台数。自社調べ。



FM-2
(1971年)



FA-32
(1980年)



FW-3721SGX
(2021年)



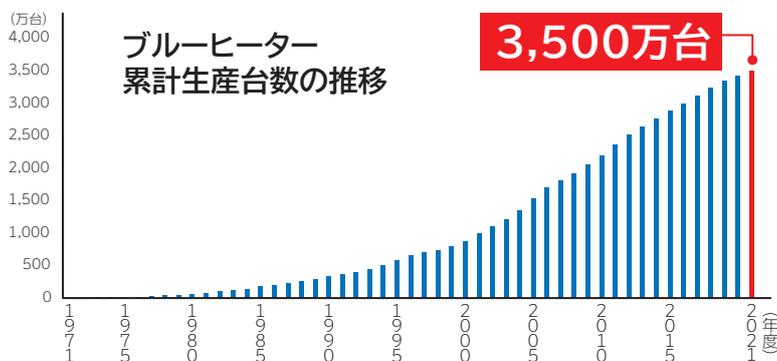
初代ブルーヒーターの業務用石油ストーブ「FM-2」は1971年に誕生しました。当時主流だった、芯に灯油を染み込ませて燃やす石油ストーブは燃焼時にススが出るため煙突が必要でしたが、灯油を気化させて青い炎で燃やすブルーヒーターは、ススやニオイが出にくく煙突が不要となった画期的な製品でした。

また1980年には家庭用石油ファンヒーター市場に参入し、誕生以来50年のあいだ改良を続けながら、全国にあたたかさをお届けしてまいりました。

年間3,100台の生産からスタートしたブルーヒーターは、現在では年間およそ100万台を生産しており、日本の冬には欠かせない暖房機器です。

長い間、多くのお客様にご愛顧いただきましたことに、心より感謝申し上げます。

当社はこれからも、より安全で快適にお使いいただける製品を企画・開発し、多くのご家庭をあたたためてまいります。



*2021年度は2022年1月19日までのデータ



添付資料1

お客様の姿から生まれたブルーヒーター

誕生のきっかけとなったのは、あるお客様でした。風呂釜のフタを外して暖房として使用している姿を当社の営業マンが見かけたのです。「放熱器を載せたらストーブになるのでは」と考えたことから、ブルーヒーターの開発が始まりました。



ブルーヒーターのいま

現在、家庭用石油ファンヒーターは、買い替えと買い増しの需要が多くなっています。長年石油ファンヒーターをリピート購入してくださる方が多く、ご購入者様の年齢層は上昇しています。

そこで、幅広い年代の方にとって「よりわかりやすく使いやすい」ことを重視し、視認性、操作性などの使い心地を向上させるなど、変化に応じて改良を続けています。

また、誕生から長い年月が経っている製品ではありますが、新しい使い方も生まれています。

エアコンの暖房使用が普及してきた近年では、エアコンの立ち上がりまでの間や足元のあたたかさを補うために石油ファンヒーターを併用する割合が増加傾向にあります。

初代ブルーヒーターは1機種から始まりましたが、現在ではカラーバリエーションを含めるとおよそ90機種を生産しています。

暖房能力、搭載機能、価格や色など、ご使用環境やお客様の好みに合わせて製品をお選びいただけます。

ブルーヒーター 人気の理由

業務用石油ストーブで80秒、家庭用石油ファンヒーターで最短35秒*1のスピード着火なので、寒い朝や帰宅後もお待たせすることなくお部屋をあたためます。

*1 暖房能力によっては、40秒または45秒着火の機種もあります。

また大容量の9Lタンク*2は、灯油がたくさん入るので給油の手間を減らします。またタンクの上だけでなく側面にもとってがついているので、重いタンクも持ち運びしやすくなっています。

*2 家庭用石油ファンヒーターのみ。業務用石油ストーブは本体への直接給油です。

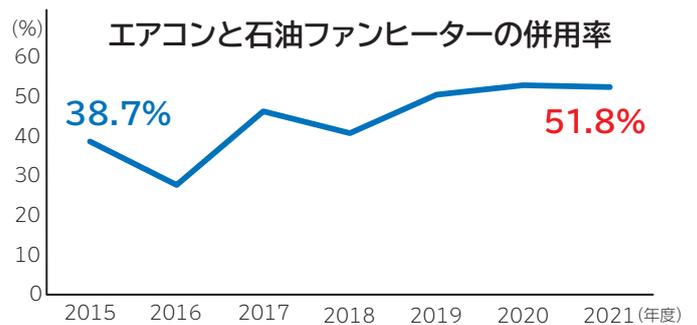
そのほかにも「かゆいところに手が届く」機能を搭載し、長年多くの方にご愛用いただいております。



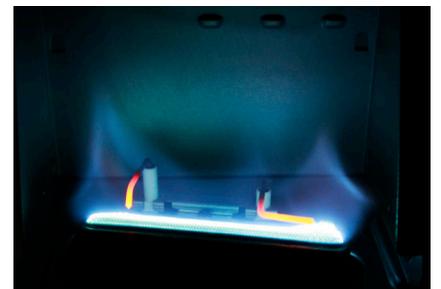
ボタンデザインを大きくし、より見やすく



タンクを持ち上げやすい「Wとって」



*当社家庭用石油ファンヒーター購入者アンケート「おもな使用場所です石油ファンヒーターと併用している暖房機器」という設問に対して「エアコン」と回答した割合。複数回答。2021年度は2021年12月31日までのデータ。



「ブルーヒーター」の由来になった青い炎

※自社調べ

日本初*

1971年
FM-2型
煙突を外した
開放式業務用
石油ストーブの誕生



1973年
FM-4型
オプションで温風
ファンが付く



日本初* (石油暖房機へのサーミスタ導入について)

1975年
FM-61
温度検知にサーミスタを導入
温風ファンを内蔵

日本初*

1977年
FM-61D
着火までを
スイッチ1つの
全自動に



1992年
FM-811
グッドデザイン賞受賞



1997年
セラミックバーナや点火ヒーターなどを
採用し、フルモデルチェンジ

2018年
FZ-101
業務用石油ストーブと同等の
暖房能力をもつパワフルなモデル
グッドデザイン賞受賞



**GOOD
DESIGN**

業務用

1964年
新潟県三条市塚野目
にて創立

家庭用

1970年



1979年
新潟市南区和泉へ移転

1980年



1990年

製造部門を
新潟市南区北田中へ移転

1996年
事務・開発部門を
南区北田中へ移転

1998年
東証二部上場

2000年

2003年
東証一部上場

2009年
ブルーヒーター (業務用・家庭用)
累計生産台数2,000万台達成

2010年

2017年
ブルーヒーター (業務用・家庭用)
累計生産台数3,000万台達成

2018年
家庭用石油ファンヒーター
累計生産台数3,000万台達成

2020年

家庭用石油ファンヒーター
累計生産台数3,200万台達成

2022年

ブルーヒーター (業務用・家庭用)
累計生産台数3,500万台達成

業界最短*

1980年
FA-32
40秒スピード着火で新規参入



1983年
マイクロコンピュータを搭載

業界最小*

1987年
FX-221
量販店専用機種
として発売



業界初*

1998年
3年保証開始



2000年
FW-3350LD
9Lタンクと給油汚れんキャップを搭載



2009年
FX-32R
インテリア性を加えた
斬新なデザイン



2018年
FW-3718SGX
3枚の動くフラップを搭載した
プレミアムモデル
グッドデザイン賞受賞
35秒着火



**GOOD
DESIGN**